



第34回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子

令和6年2月18日 11:05 開始

準決勝

ジェイテクトアリーナ奈良 B

◎
京都精華学園
(京都)

98

26	1st	24
23	2nd	13
24	3rd	21
25	4th	22

80

阪南大学
(大阪)

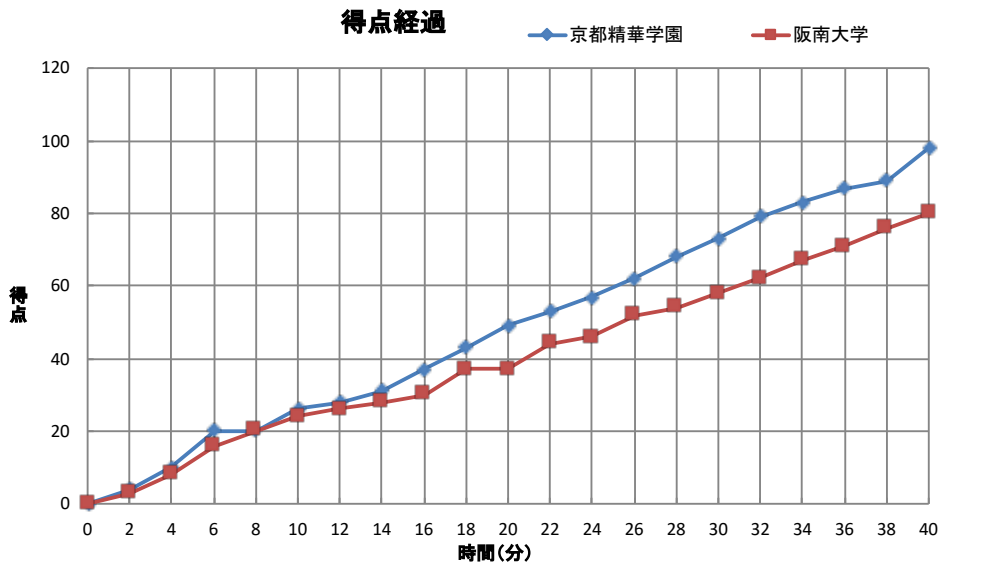
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
00	翁長 佑誠	-	-	-	-	-	0	稲垣 圭亮	-	-	-	-	-
2	西村 康太郎	-	-	-	-	-	* 4	ソランタホ チネドゥ ヨツツワイル	25	0	11	3	2
* 6	上野 叶翔	30	0	14	2	2	10	ユベツネ ナブノ ジャフフェット	6	0	3	0	0
7	善山 亮太	2	0	1	0	3	* 11	池野 照汰	11	0	4	3	3
8	井上 智毅	-	-	-	-	-	26	田深 翔太	-	-	-	-	-
11	内山 煌和	-	-	-	-	-	28	芝池 竜司	-	-	-	-	-
* 13	新開 温矢	22	0	9	4	3	33	吉田 晴秋	-	-	-	-	-
* 14	西村 晴太	6	2	0	0	2	* 35	酒井 優	4	0	2	0	3
15	西本 圭汰	-	-	-	-	-	* 37	松本 星希	18	1	7	1	2
18	前 和成	-	-	-	-	-	41	中河原 温大	-	-	-	-	-
19	竹村 寅治郎	-	-	-	-	-	* 54	川島 恭平	10	1	3	1	3
* 23	東郷 然	11	0	5	1	1	66	澤田 世生	-	-	-	-	-
34	キモナ ディエウ	13	0	6	1	3	67	児玉 遼太	4	0	2	0	0
55	林 徠樹	-	-	-	-	-	91	花田 龍哉	2	0	1	0	3
* 77	ソロモン レイモンド	14	0	7	0	3	95	松井 翔希	-	-	-	-	-
コーチ	山崎 翔一郎						コーチ	森本 正					
Aコーチ	奥田 翔						Aコーチ	坂本 洋志					
合計		98	2	42	8	17	合計		80	2	33	8	16

クルーチーフ: 田中 優志

1stアンパイア: 栗山 一平

2ndアンパイア: 北山 拓海

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	16:59	: 33:58	: :	: :	: :	: :
TeamB	14:52	: 26:56	32:33	37:50	: :	: :

〔戦評〕
 阪南大学 4、11、35、37、54 京都精華学園 6、13、14、23、77
 第1ピリオド、京都精華学園はマンツーマン、対する阪南大学は1-3-1のゾーンディフェンスでゲームスタート。京都精華学園は77(ソロモン)のゴール下のシュートが決まり先制点を獲得し、主導権を握りにいく。しかし、阪南大学が京都精華学園を勢いに乗らせない。54(川島)、11(池野)のドライブインからの得点。その後も両者譲らず、26-24と京都精華学園2点リードで終了。
 第2ピリオド、阪南大学は35(酒井)、11(池野)のレイアップと得点を重ねるがリズムをつかめないでいる。対して京都精華学園は6(上野)の連続得点と阪南大学を離していく。残り5分、これに対し阪南大学はたまたずタイムアウト。タイムアウト明け阪南大学37(松本)の連続得点に対し今度は京都精華学園がタイムアウトを取る。その後再び京都精華学園がリズムを取り返し49-37と京都精華学園が12点リードで前半が終了。
 第3ピリオド、阪南大学はディフェンスをオールコートマンツーマンで足を活かしプレッシャーを与え、反撃を狙う。後半、最初に流れをつかんだ阪南大学は37(松本)のレイアップなど一時1桁差まで京都精華学園に詰め寄る。京都精華学園は開始1分77(ソロモン)の3つ目のファールで交代するなど開始早々苦しい展開が続くが持ち味の速い展開からの攻撃によりリズムを取り返し73-58と、京都精華学園が15点リードで終了。
 第4ピリオド、京都精華学園の勢いは止まらない。6のレイアップ34の力強いゴール下のシュートとさらに阪南大学を突き放していく。阪南大学が追い上げを見せるも届かず98-80で京都精華学園が決勝へと進む。

戦評: 武村 拓

記録: 高田高校